

ものを得る場合がある、保姆は、この人間がかたまる時期に接するのであるから反省自重してますます斯道の盛になる様努力せられ度い。御禮かた／＼一言述べたのである。

尙帝國教育會でも保姆の検査を盛んにやり、保姆の改良に力を盡して居る。來年には全國保姆の大會を開催し度いと思つて居る。



總會出席者の一人

五十年前、と一口に云ふ事も、書くこともたやすいが、五十年の事實、それは何といふ驚ろくべきもの、貴重なもの、有難いものであらふ。

更に現代を生み、生命と涙で現代を育てはぐくんだ現代にとつては祖母ではない母の世紀であ

る時、其處に深い親しみと敬愛の念が湧く。その五十年前から今日に至るまで幼児教育、幼稚園教育の爲に精勵努力、身を以て幼児教育に盡されたわが、氏原先生膳先生を、昭和三年のこの幼稚園協會總會にも迎へしたといふ事は何といふ嬉しい事!!

壇上に於ける先生の御辯舌、實に、世間によくある老人ではない、滔々と述べ語らるゝ言葉の一々、ぐんぐんと私の胸にひびき入つた。明治初年にはじめて作曲作歌された唱歌を兩先生は元氣に壇上で合唱された。御説明の一々伺つてほんとうに私共の想像の外である事が解つた。譜があり作曲がありそして樂器も不自由ない現代に比べて、幼兒の爲に計らるゝ當事のその御苦心はどんなであつたらふ!!

拜聽しながら、勿體ない氣がした。私にとつては、兩先生のこの會への御出席は、丁度眞夏の陽

にしほれきつた野の草が夕立に會つたようなものである、幾度か自分の無能にあきれ、無力と意氣地なしに、自分で自分を投げやり、打ち捨てゝ來た。もう若い人達が受け續いてもつと善くして下さるから私は退き下らふ、そんな事も思て見た、も一歩ふみ止つて見れば恥しくて引繼ぎ出來ないほどの荒地の畑を持ちながら。

總會に於ける兩先生のことに御高齡と承る氏原先生の印象は、私にとつて大きな「インスピレイション」であつた。「五十年間を幼兒の教育に捧げなされたあの先生方の前に出て、否、前に出られるのか、そんなお前の心がけて、そんなお前の小さな努力で、私は自分で自分をどなりつけた。丁度その日の朝であつたか、倉橋先生がお講義の中に「年寄りでもないのに年寄りぶつて」といふ一言を云はれた、それとこれと思ひあはせて私は、右左から背を打たる思ひがした。然し今日壇上の氏原先

生御姉妹に接しなかつたら、私はかういふ強いインスピレイションは受けなかつたであらふ。

「やりますこれから、これからやります、多勢の姉妹で力を併せて、お母様見てゐて下さい、意氣地なしを云つたのは姉がひもない、私が悪うございました」心の中でかう叫ぶと同時に「お母様、ようこそ今日は來て下さつた、今日來て下さらなかつたら私は自分で自分をベチャンコに干物にしてしまつたかもしれない、大切な多勢の幼兒を抱いてゐる自分を、ほんとうによく來て下さつた、よく、」とめどもない感謝の涙で胸がふさがるほど、家へ歸て眠るまで私は幾度かこの感謝をくりかへした。(七月二十七日)